



# Allora 6.0-1 新規機能について

Ver 1.0

2009年11月1日

株式会社クライム

## 目 次

<b>Mapper:</b>	P3
1: Mapper Tools メニューからマッピングについてのテキスト・レポート生成が可能になりました。	P3
2: 今までのテーブル状フォーマットに追加してテーブル関係が図形での表示機能が追加されました。	P4
3: 「Marshal」と「Unmarshal」 Settings ダイアログで date と datetime フィールドに関してカスタム・フォーマットの設定オプションが追加されました。	P4
4: テキスト・ファイルにアンマーシャル(unmarshall)を行ったときに、ヘッダーとフッターを削除するオプションを追加。	P7
5: Java クラスを使用したスクリプトで新規のサンプル・プロジェクトを作成	P8
<b>Setup:</b>	P8
<b>Engine:</b>	P8

# 1. はじめに

## 1.1. 本ドキュメントについて

### 1.1.1. 対象範囲

本ドキュメントは、Allora 6.0-1 新規機能について記述します。

## 1.2. 変更履歴

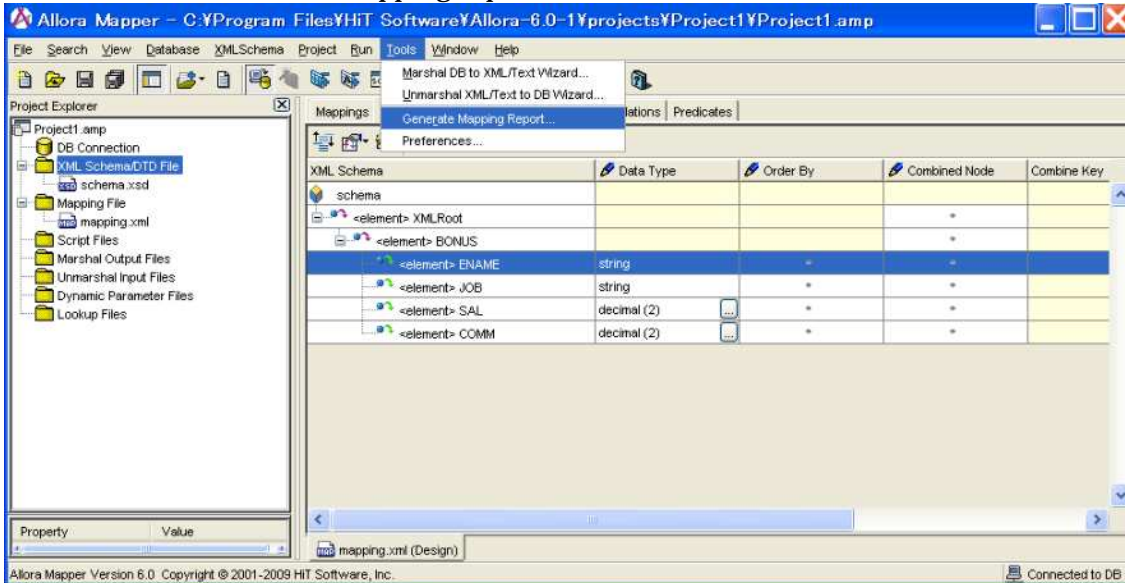
版	作成日	変更者	内容
1.0	2009/11/01(金)	川上/Veera	初版

**Mapper:**

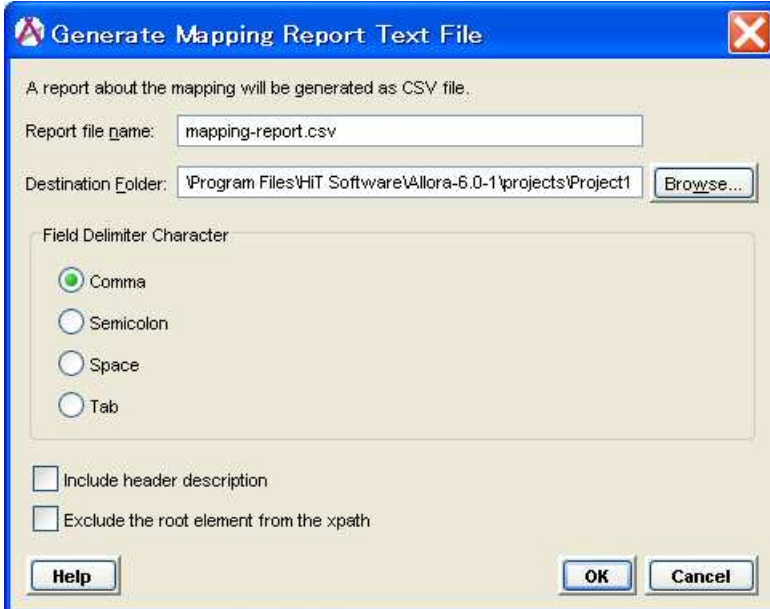
1: Mapper Tools メニューからマッピングについてのテキスト・レポート生成が可能になりました。また次の同機能 API ファンクションを提供します。

```
public java.lang.String getCsvReport(boolean bSkipRootNode,charfieldDelimiterCharacter);
```

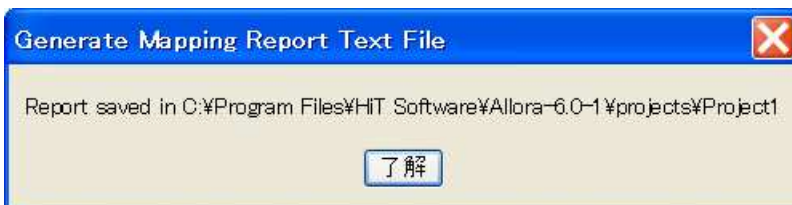
Tools タブから「GenerateMappingReport」をクリック...



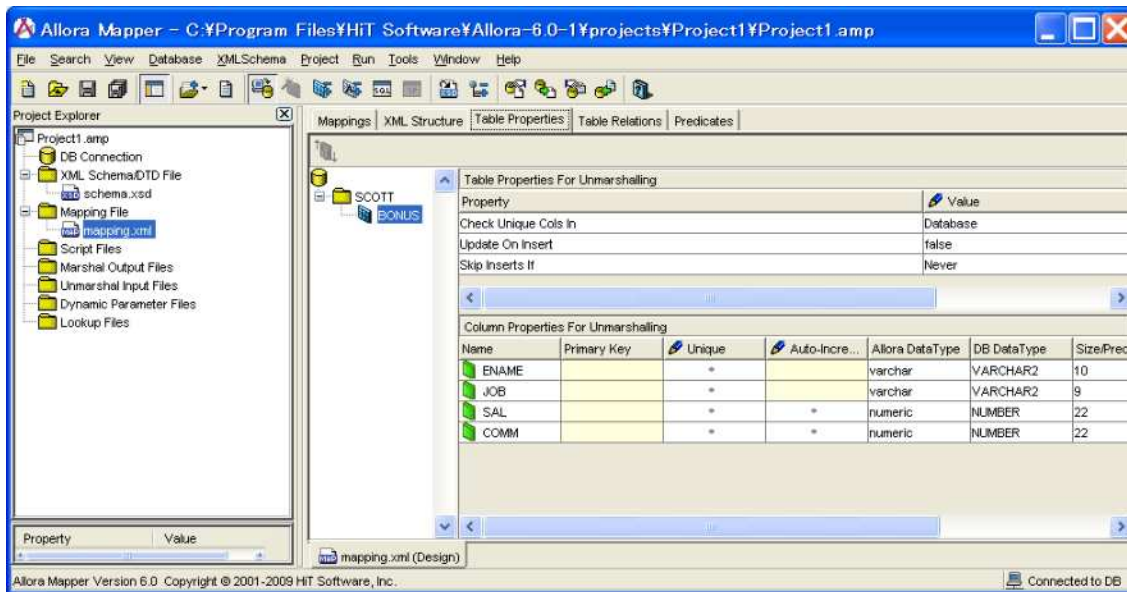
マッピングに関するレポートは CSV ファイルで提供されます。「Report file name」をタイプし、「Destination Folder.」を指定します。区切り文字 ( delimiter character ) フィールドと他のパラメータを指定し、「OK」ボタンをクリックします。



指定したディレクトリ確認メッセージが表示されます。

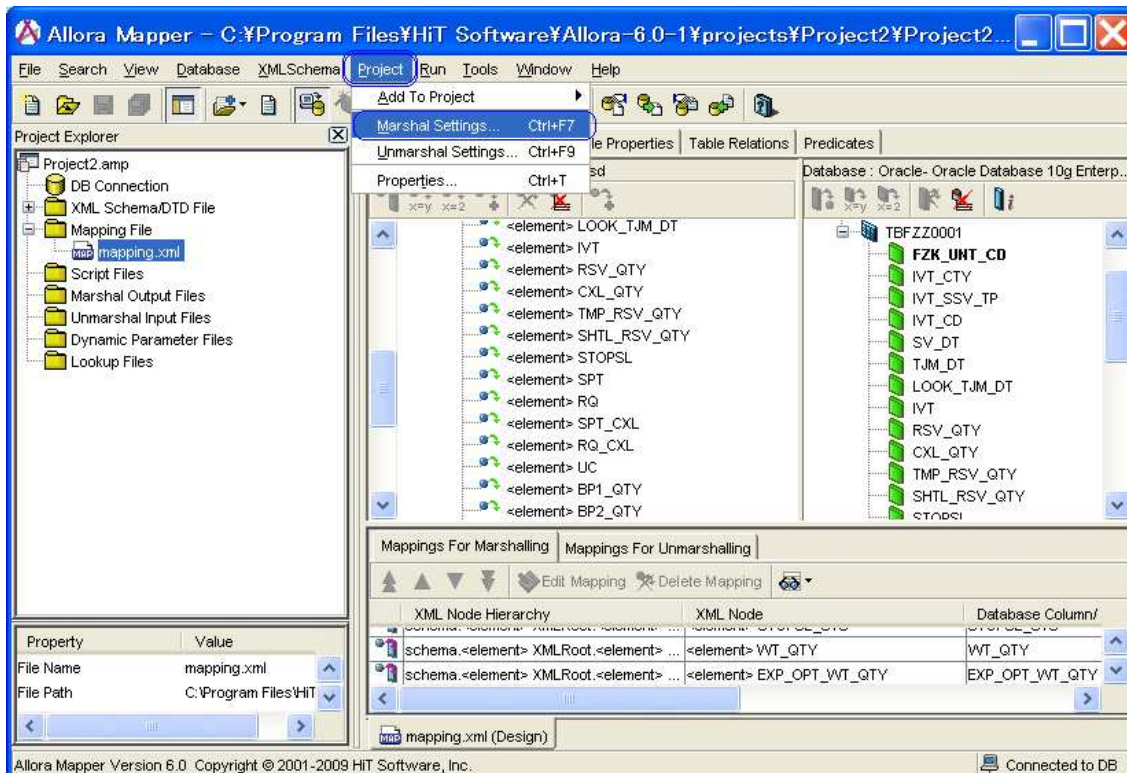


2: 今までのテーブル状フォーマットに追加してテーブル関係が図形での表示機能が追加されました。

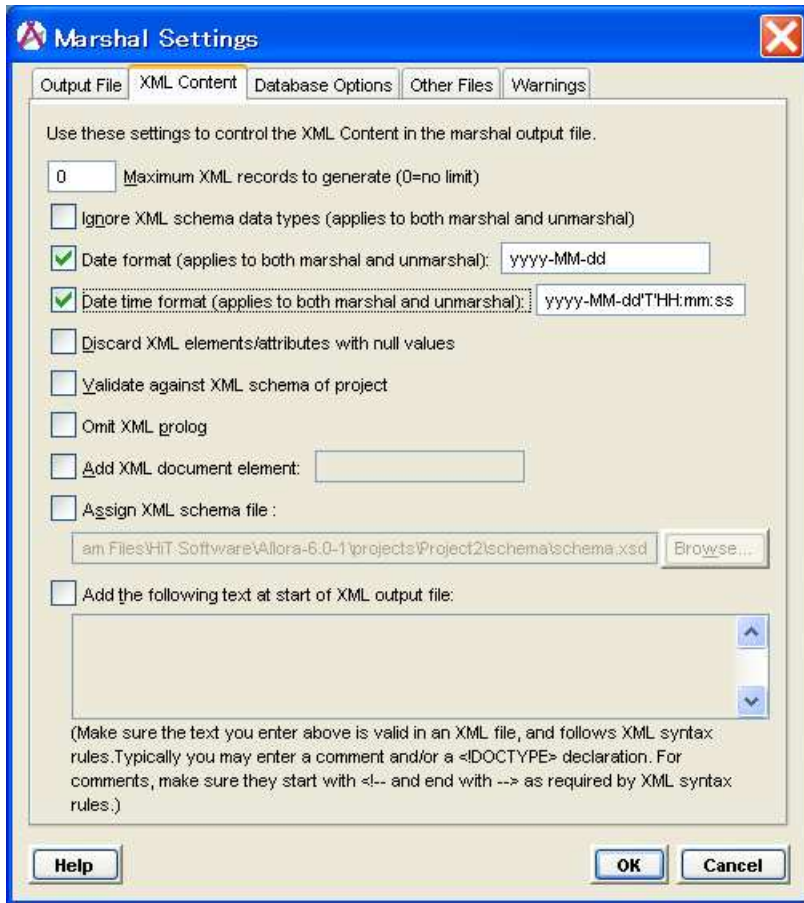


3. 「Marshal」と「Unmarshal」 Settings ダイアログで date と datetime フィールドに関してカスタム・フォーマットの設定オプションが追加されました。

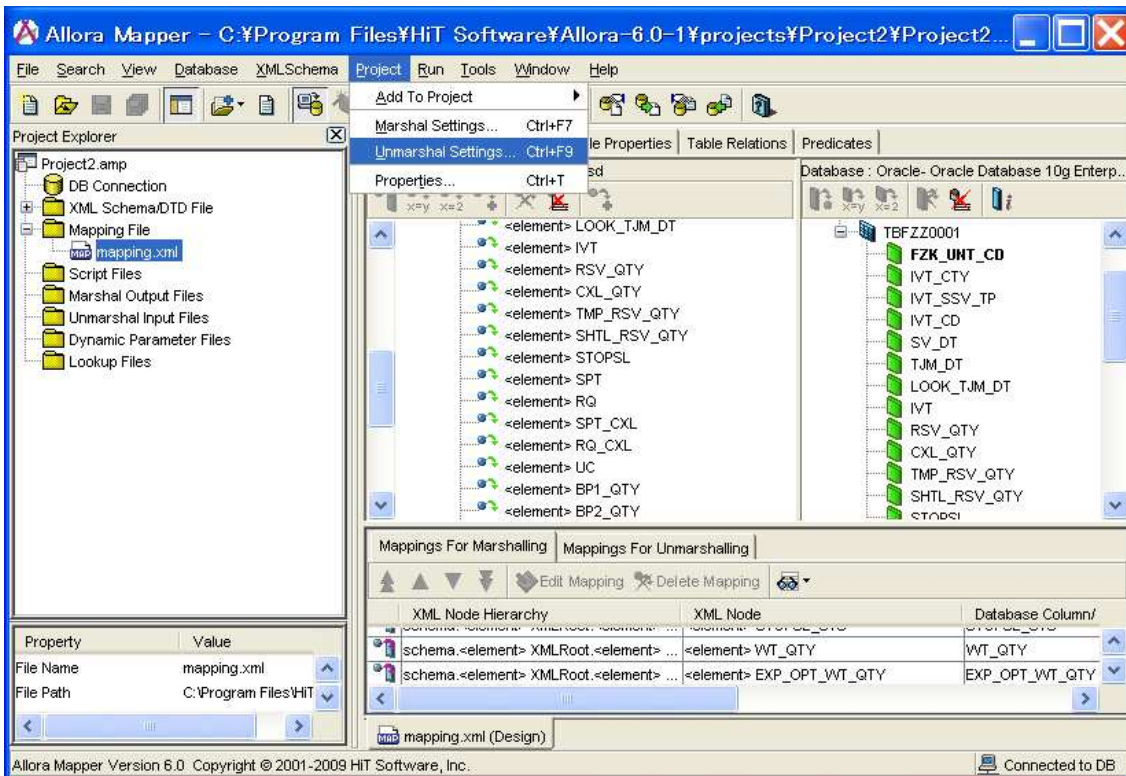
Project タブから Marshal Settings メニューをクリックします。



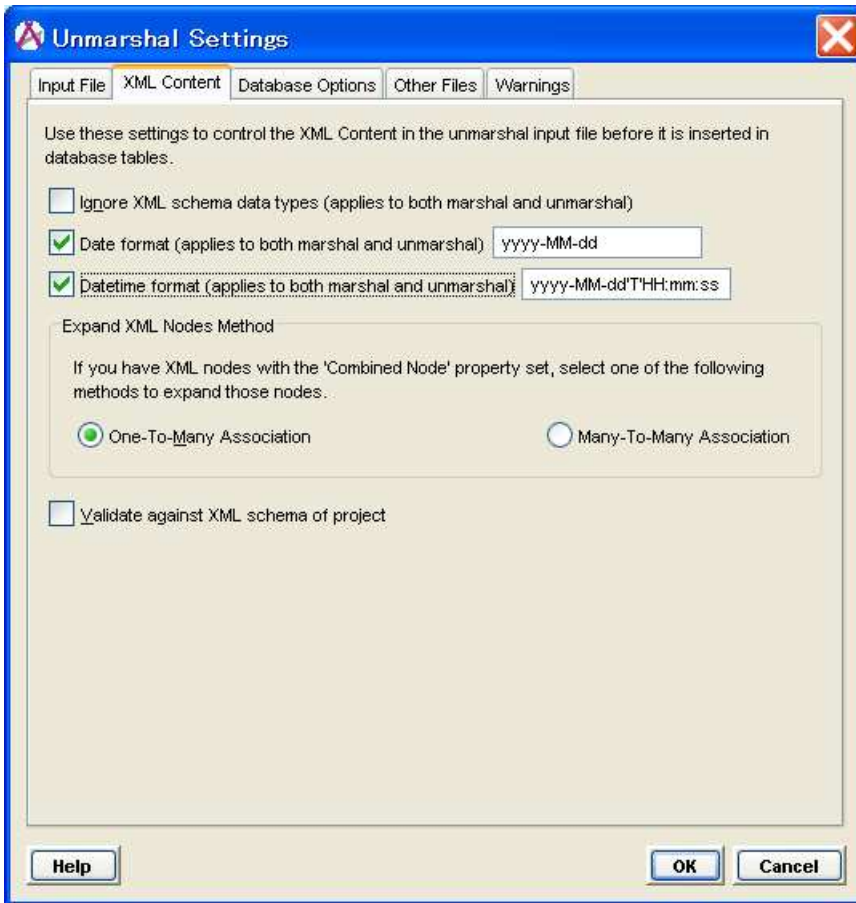
実際のデータベース・フォーマットから変換したい「Date format」と「Time format」を指定します。またこのウィザードで適応させたい項目にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。



「UnMarshalling」の場合も同様に Project タブから「Unmarshall Settings...」メニューを選択します。

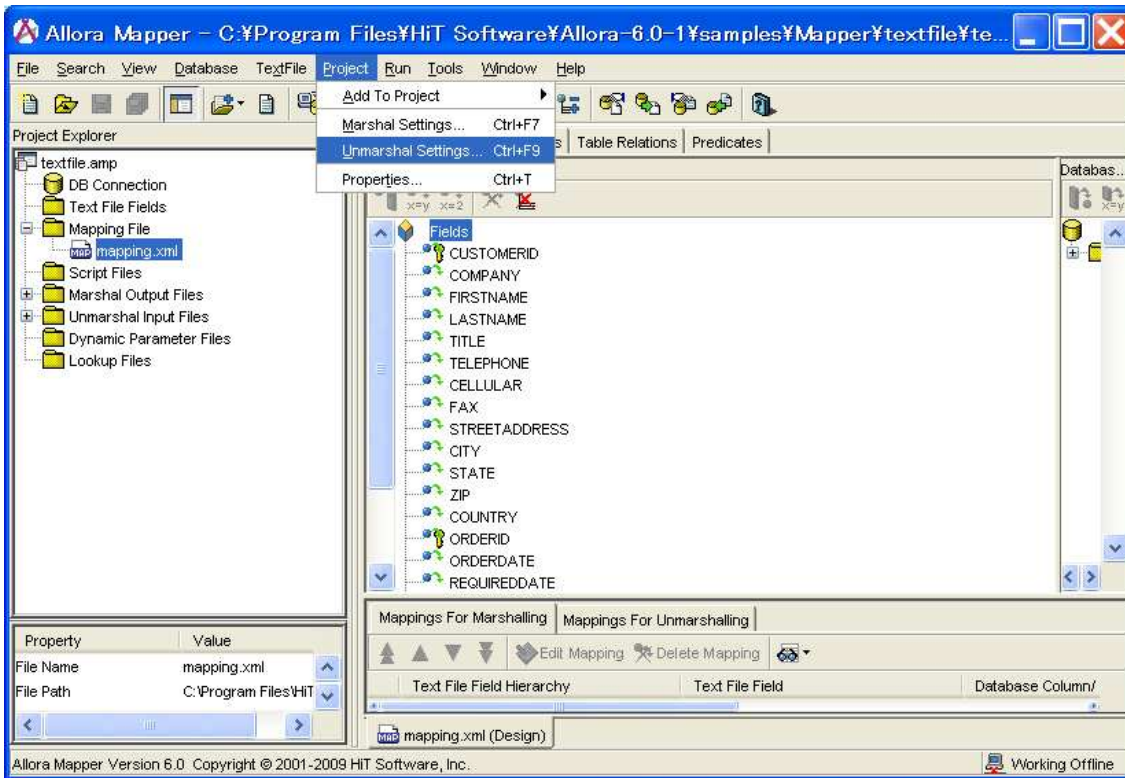


変換したい Date と Time フォーマット・チェック・ボックスを指定し、「OK」ボタンをクリックします。

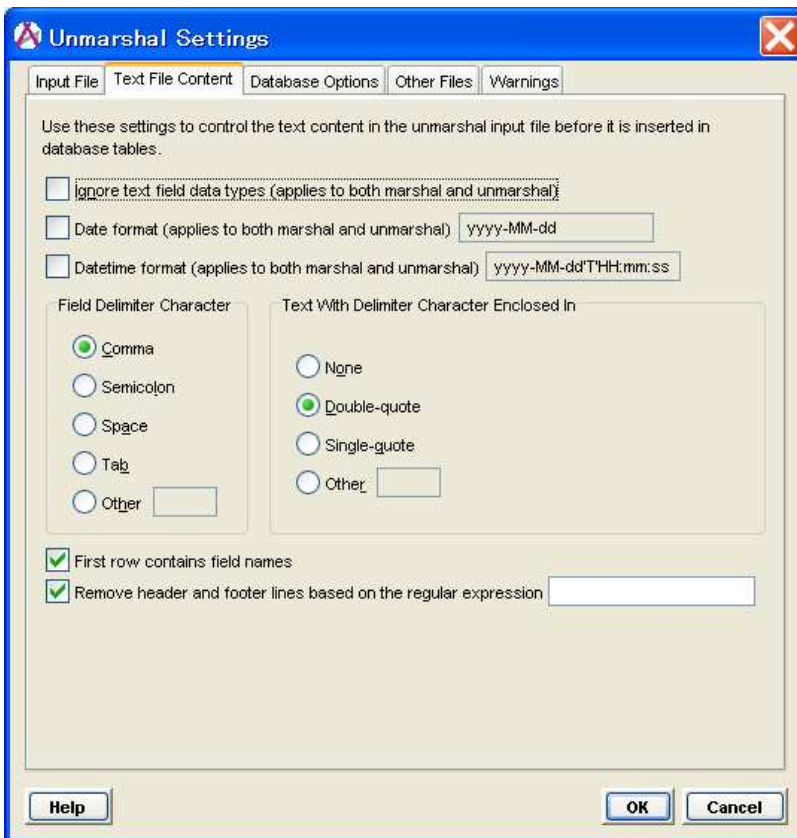


#### 4. テキスト・ファイルにアンマーシャル(unmarshal)を行ったときに、ヘッダーとフッターを削除するオプションを追加。

Project タブから「Unmarshal Settings...」をクリック

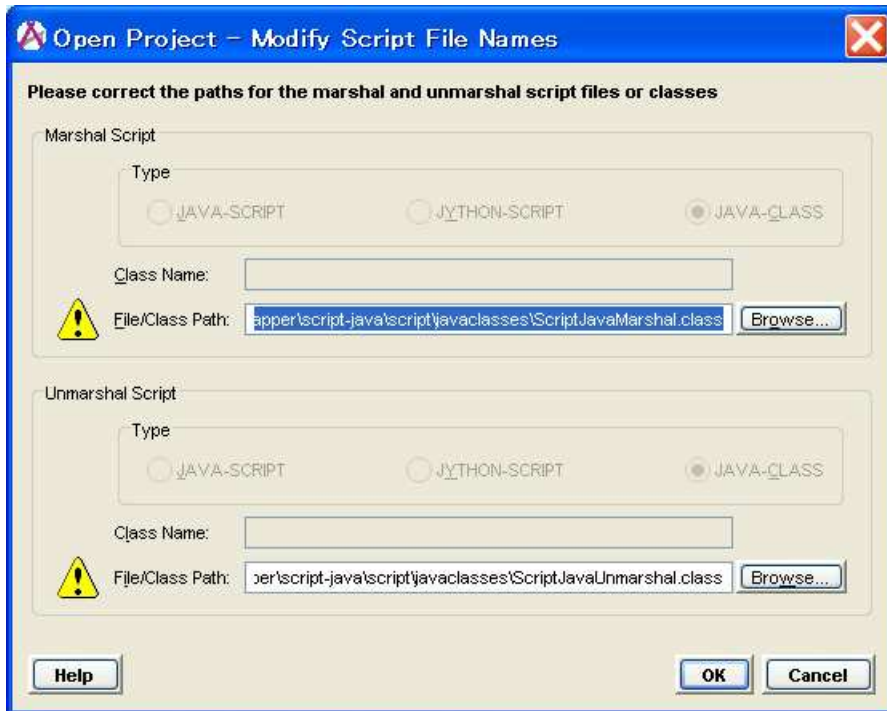


「Remove header and footer lines based on the regular expression」のチェックボックスを選択し、「OK」ボタンをクリック。



## 5. Java クラスを使用したスクリプトで新規のサンプル・プロジェクトを作成

「Open Project – Modify Script File Name」ウィザードでスクリプト・ファイル、またはクラスのパスを修正 ( Please correct the paths for the marshal and unmarshal script files or classes ) し、「OK」ボタンをクリック。



### Setup:

setEnvAlloraAPISample batch files (.sh, .bat)の問題を修正:

「%JDBC\_DRIVER\_CLASSPATH%」のダブルクォートの予備セットでしばしば問題がありました。

### Engine:

1. Oracle での timestamp と timestampx のサポートを追加
2. Oracle jdbc-odbc ドライバで提供されている数値データ型のサポートを追加
3. ドライバ JConnect 6.0 (new class name)のサポートを追加
4. XML コンテンツ記述時のキャラクター幅確認を付加